



こんな歳になって??? この歳になったからこそ!!!

一般財団法人地域社会ライフプラン協会
元井 昌枝

58歳の誕生日を過ぎた頃、ひよんな事から息子がよく行く近所のサイクルショップについて行った。

その店は、ママチャリとは違う、自分には縁のない、カッコいい自転車が並んでいて、気にはなっていたけど入る用事も勇気もなく、いつも横目で見ながら通り過ぎていたところだ。

「こんにちは！母がちょっとのぞきたいって言うから…」

「いらっしゃい。興味あるんですか？」と店主

「えっ！ いやっ、カッコいいなあと思って…」

「乗ってみます？」

思いもよらない言葉が私の好奇心に突き刺さった。

ドキッ！ ドキッ！ ドキッ！

『こんな歳になって??? 若者が乗っている自転車に?? 前傾だし年寄りには危険?』

とんでもないオーラがどんどん責め立てる。

そんな心の動揺を見透かされ、

「走ったら快適ですよ！」と2本目の矢も。

「外で乗り方、教えましょうか？」

参りました m(_ _)m

店の外に出て、ハンドルの握り方、サドルへの腰掛け方、ブレーキのかけ方、ギアチェンジの仕方、止まったときの足の付き方などなど懇切丁寧に教えてもらった。

こう書くと強引な営業マンに販売攻勢をかけられたように思われるかもしれないが、決してそうではなく、こよなく自転車を愛してやまない店主の熱き思いがこのようなやりとりになっただけである。

てな経緯でこんな歳になって、生まれて初めてクロスバイクなるものに跨がせてもらった。

おそろおそろ漕ぎ出した。まず右足をペダルに乗せ下に踏み込む、次に左足を。

「えっ!!! 何、これ、すっごーい! (^O^)」

衝撃が走った。今までに味わったことのない感覚に襲われた。たったの二漕ぎで。自分の脚力でこんなに軽く、しかもこんなに速く走るなんて、

『なんということでしょう! (@_@)』

一街区をあっという間に廻り店に戻った。



にこにこ顔の店主が「どうだ (^_^)/」といわんばかりに待っていてくれた。

「すごいですね、この自転車！」

「でも、まもなく還暦だし、やっぱりこんな歳になっておかしいよね(?_?)」と息子の方に顔を向けた。

『歳? そんなの関係ないんじゃないかな…』

店主も息子も揃って、そう言いたげな顔をしたように私には見えた。

「乗りたいなら、買えばいいじゃない」と息子。

またまた、参りました <(_ _)>

「だよなー」ということで、写真のクロスバイクをゲットした次第であります。

正直そんなに頻繁にこのクロスバイクに乗る機会はない。

でも乗るときはいつでも心がときめき、若者になった気分が颯爽と走る。背筋を伸ばし、しっかりと前傾姿勢をとり、間違っても「あのおばはん危ないな (>_<)」と思われぬように、しっかりと交通ルールを守り走るように心がけている。

『この歳になったからこそ、興味や好奇心を持つことを大切に、そして勇気を持って挑戦しなくっちゃ!!!』

心でそうつぶやきながら、ママさんバレーボールの練習着を入れたリュックを背負い、体育館に向けて走り出す日曜日の午後である。